

東北のなかま

発行 生協労連東北地連

09年11月9日 09年度4号

電話022-236-9651

FAX 022-283-0035

とても勉強になりました！

という感想が多数

～ 地連大学部会労働学校 ～



11月7日(土)～8日(日)の2日間、岩手県の鶯宿温泉・南部富士見ハイツで、東北地連大学部会の労働学校が開催されました。いままでは、大学部会の活動交流会として様々なテーマで行ってきましたが、今回は「労組活動をきちんと見直そう」ということで、地連三役も一緒に参加して労働学校が開催されました。

最初の学習講演では、後藤剛志・地連副委員長に「労組活動の基本 ～要求作りと団交の仕方～」というテーマで講演いただきました。あなたの労組は「キャン」と言っていないか？

典型的なダメ労組になっていませんか？などと、自分たちの労組活動を振り返ってもらうところから、団交のポイントまでお話いただきました。

学習講演のあとは分散会で、地連三役会で出した「お題」にそって職場の実態を出し合い、要求書を作成するというものでした。翌日は、分散会でまとめた要求書をもとに団交を2回行いました。地連の上條書記長、

池田副委員長に理事会役をしてもらいました。2つの団交について団交に参加しないグループにジャッジしてもらい、前日の講演にそって後藤副委員長に解説いただきました。

ただいま、年末一時金闘争の最中。今回学んだことで、頑張っしてほしいと思います。今回の労働学校は7組織36名の参加でした。労働学校終了後は、大学部会の幹事会と、岩大生協の見学も行われました。



以下、参加者の感想文より・・・

- ・典型的なダメ労組と確認できました。これからの方向が見えてきたので、頑張っていこうと思います。
- ・ユニオンショップ協定や36協定など基本的なことについてきちんと勉強でき知識を深めることができました。
- ・法律、上部団体、具体的な事例など相手の嫌がるところをつく団交を今度は行ってみたい。
- ・大変参考になりました。法的な知識、具体的事実が強さだと痛感しました。